

岩手県スポーツ推進委員協議会

会 報

発 行

総務委員会

No. 2

2025. 3. 17

岩手県スポーツ推進委員初任者研修会

令和6年6月23日(日)、滝沢総合公園体育館にて、「令和6年度岩手県スポーツ推進委員初任者研修会」が開催されました。

この研修会は、スポーツ推進委員の初任者が職務に対する認識を深め、地域のスポーツ振興に必要な知識及び技能について研修し、資質の向上を図ることを目的に開催したものです。

当日は、釜石市スポーツ推進委員の佐藤健氏より「スポーツ推進委員の心得」、葛巻町スポーツ推進員協議会会長の服部健氏より「スポーツ推進委員の活動について～葛巻町の取組紹介～」と題して講義をいただきました。

また、実技指導においては、葛巻町及び岩手地区スポーツ推進委員協議会の皆様のご協力により「インドア・カップ」が行われ、競技に関する知識の習得、参加者相互の交流の場となりました。

【研修会の様子】



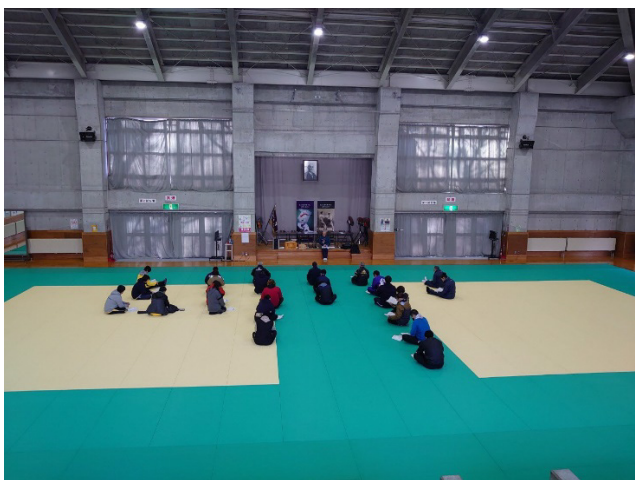
岩手県ファミリー健康体力向上事業

様々な世代の住民の体力向上と心身の健康保持増進のために、スポーツ推進委員が企画運営する体力測定会に家族で参加し、体力等の状態を確認するとともに家族でそろって運動やスポーツに親しむ習慣を身につけることを目的に、「岩手県ファミリー健康体力向上事業」が行われました。

【盛岡市会場の様子】



【久慈市会場の様子】



東北地区スポーツ推進委員研修会宮城県大会

令和6年7月 12～13 日、宮城県石巻市複合文化施設にて、「令和6年度東北地区スポーツ推進委員研修会宮城県大会」が開催されました。

この研修会は、地域スポーツの推進者としての役割を担うスポーツ推進委員の資質向上を図ること、地域スポーツの普及・振興に関する諸事項について、講演や実技研修を通して研修を行うことを趣旨として開催されたものです。

7月12日（金）は、「スポーツを活用した街の未来」と題し、大阪体育大学学長の原田宗彦氏より講演をいただきました。

また、7月13日（土）の実技研修会では、石巻南浜津波復興記念公園でウォーキングが、奥松島運動公園体育館でディスコンとニチレクボールが、女川町総合運動場女川町総合体育館でモルックとスポーツウエルネス吹き矢が行われました。

【研修会の様子】



岩手県スポーツ推進委員研修会

令和6年9月7日（土）、陸前高田市総合交流センターにて、「令和6年度岩手県スポーツ推進委員研修会」が開催されました。

この研修会は、県内スポーツ推進委員が一堂に会し、地域スポーツの普及や振興に関する研修を行い、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツの振興を目的に開催され、冬季オリンピックノルディック複合銅メダリストの永井秀昭氏による講演、気仙地区スポーツ推進員協議会による実技研修が行われました。

講演会では、様々な苦難を乗り越えメダルを獲得するに至るまでの体験談、大会動画から様々なエピソードをお話しいただきました。講演終了後には、永井氏のご厚意により北京オリンピックで獲得したメダルやマスコットに触れることのできる貴重な機会をいただきました。

また実技研修では、気仙地区の推進委員の皆様のご協力により、日差しの強い中ではありましたが、屋外ではウォーキング、クッブ、屋内では卓球バレー、の3種目について、熱心に実技指導をいただきました。

【研修会の様子】



第 65 回全国スポーツ推進委員研究協議会宮崎大会

令和 6 年 11 月 14 日（木）～15 日（金）、宮崎県宮崎市ひなた武道館にて、「第 65 回全国スポーツ推進委員研究協議会宮崎大会」が開催されました。

この大会は、スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの今日的課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資することを目的に開催されたものです。

宮崎大会では、「既成概念からの脱却」～宮崎で共に創る新たなスポーツの世界～をテーマに掲げ、特別講演では「スポーツの力と地域社会」と題し、スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学教授の増田明美氏のご講演をいただきました。増田明美氏は、「競技引退後のスポーツ普及活動、目標を持つことで運動習慣を定着に繋げたこと、自身や地域住民の健康状態を維持（ロコモティブシンドロームの予防）するため、スポーツ推進委員には地域の人への声掛けから始めて欲しい」と話していました。

また、シンポジウムでは「これまでのスポーツ、これからのスポーツ」をテーマに行われ、スポーツは自由な遊びからの派生であること、これからのスポーツ文化は「全ての人の生きる喜び」「元気なまちづくり」「共生社会」のカギとなるべきであり、個人的なスポーツや、見る、支える（ボランティア）分野を積極的に育てていく必要があるという話がありました。

2 日目の分科会は、『「つくる／はぐくむ」視点でのスポーツ推進』、『「あつ

まり、ともに、つながる」視点でのスポーツ推進』、『「誰もがアクセスできる」視点でのスポーツ推進』と題し、3会場で開催されました。

「誰もがアクセスできる」視点でのスポーツ推進では、発表者からスポーツ推進委員に求めることとして、「障がい児を積極的にスポーツの輪に含めること、地域のスポーツチームとの連携を進めること」が挙げられました。

今大会には、岩手県内のスポーツ推進委員19名が参加し、また、大会初日には本県スポーツ推進員から功労者表彰3名、30年勤続表彰8名、一般賛助会員感謝状1名が栄えある賞を受賞されました。

【研究協議会の様子】

